

# ブックオフコーポレーション株式会社

2009年3月期 第1四半期決算概況

2008年8月8日

ブックオフコーポレーション株式会社

(東証一部:3313)

## 2009年3月期 第1四半期連結業績の概況

- ・ 売上高 9.5%増、営業利益 58.9%減、経常利益 51.2%減 増収減益利益は計画を上回る
- ・ オンライン事業は販売管理費のコントロールにより、当初計画どおり第3四半期に単月黒字化を予定。
- ・ 有価証券評価損 250百万計上により純利益は計画を修正したものの、売上高、営業利益、経常利益は予想どおり順調なスタート

## 経常利益計画を 82 百万円上回る

当第1四半期経常利益計画 180百万円に対し、実績 262百万円

出店初年度費用の早期回収化のために、今期は出店を第1四半期に集中し17店舗出店、そのため経常利益計画は180百万円と、昨年にくらべマイナス66.6%で計画していましたが、しかしながら4月に出店した都市型大型店の秋葉原駅前店や「中古劇場」2館等において、オープン前の経費削減がはかれたほか、オープン後の売上也計画を上回って推移しているため、連結利益計画は計画を上回りました。

### 各セグメント別実績

#### 【ブックオフ事業】

- 当第1四半期のグループ直営店の既存店売上は前年同期比100.6%でした。
- 当第1四半期のブックオフ事業の出店は、グループ直営店8店舗、FC加盟店8店舗でした(閉店はグループ直営店3店舗、FC加盟店9店舗)。
- 当第1四半期の経常利益は、大型店、中古劇場への出店した店舗の早期利益化により、計画を大きく上回りました。
- オンライン事業は、当初課題であった人材派遣に依存した出荷体制を解消し、人件費のコントロールと、知名度向上による広告費の抑制等により、当初計画に対し利益のマイナス幅は減少しました。これらの現状により単月黒字計画も前倒しを予定しております。

#### 【その他リユース事業(キッズ・婦人服事業及びその他リユース事業)】

- 当第1四半期のその他リユース業の出店は、中古劇場内の出店を主に10店舗でした(閉店は3店舗)。
- 当第1四半期は、中古劇場2館、2店複合店1館を出店したこと、スポーツ、衣料などの売上が低

い期により、計画では営業利益マイナス計画でしたが、ほぼ計画どおりの進捗となりました。

#### 【TSUTAYA事業】

- 当第1四半期のツタヤ事業は、1店出店しました。この出店はビデオレンタルのみならず新刊書店、新品CD、DVD、ゲームソフト等を扱う、マルチパッケージストアを受管出店しました。当社としてマルチパッケージストアの出店は初となります。
- 新規出店に加え、既存店が売上を堅調に伸ばしたことで増収増益となりました。

#### 第2四半期以降に向けた今後の施策

- ・ 企業ミッションとして新しく「捨てない人のブックオフ」を掲げ、マーケティング戦略と併せ客層の拡大を図る
- ・ 前期より進めている在庫最適化の取組みと、簡易査定システムの導入による生産性の向上を図る

### 今期計画の進捗状況と業績予想の修正について

#### 【今期計画の進捗】

第1四半期時点では計画どおり順調に進捗しております。

第2四半期には、今期2店目となる都市型大型店「渋谷センター街店」の出店、今期3館目の出店となる中古劇場「川崎モアーズ館」と、今期のテーマである「大型店・複合店」の出店が続きます。第1四半期に出店した店舗の利益貢献化や、オンライン事業の下期黒字化により、当期下期の利益占有度が高い計画になっております。

#### 【第2四半期以降への施策】

本・DVD等のみならず、洋服、貴金属等を必要なくなった人から必要な人へ届けることを使命に「捨てない人のブックオフ」を掲げ、顧客層の拡大を図って客数の増加に繋げて参ります。

ハンディ端末を活用としたDVD、CD、ゲーム等の簡易査定システム導入を上期中に直営店全店に導入完了予定。買取にかかる時間の短縮と買取精度の向上を図ります。

在庫適正化により在庫水準は適正に保たれている中、次のステップとして店舗の規模、地域特性、店長のスキルに合わせた仕組みづくりをすすめ、またオペレーションの簡素化による生産性向上に取り組んでおります。

#### 【業績予想の修正について】

有価証券評価損による特別損失の計上で、当期純利益は中間期でマイナスになる予定ですが、本業である、売上高、営業利益、経常利益は当初計画どおりです。